

平成29年1月25日

会員各位

公益財団法人 日本博物館協会
会長 銭谷 眞美

I C O M 日本委員会
委員長 青木 保

「国際博物館の日」記念事業実施についてお願い
— 2017年テーマ—
“歴史と向き合う博物館—博物館は何が語れるか—”

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

国際博物館会議（I C O M）が提唱する「国際博物館の日」（5月18日）については、毎年、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

「国際博物館の日」の記念事業は世界各国で取り組まれておりますが、我が国においては日本博物館協会として2002年に初めてこれに参加し、本年度16回目の実施となります。

今年のテーマは、"Museums and Contested Histories: Saying the Unspeakable in Museums"（歴史と向き合う博物館—博物館が語るものは—）です。

このテーマは、社会貢献を通じて人々の平和的な関係を促進する拠点（ハブ）となる博物館の役割に焦点を当てています。同時に、争われた歴史（contested history）の受容が、和解の旗じるしのもとで共通の将来を心に描く第一歩となることも強調しています。

博物館で「語ることのできないこと」を言う、という選択をすることによって、2017年国際博物館の日のテーマは、人類固有の争われた歴史（contested history）の理解しがたい側面を知ることができるようになり、また、様々な見解や学説を提示することによって、トラウマともなる歴史を平和的に述べる積極的な役割を、博物館に演じさせることになるでしょう。

我々はタブーとされている事柄を超えて、より良い相互理解を志向する将来展望を描こうとするこの事業に参加する、世界中のあらゆるタイプの文化機関を歓迎する、という思いが込められています。

今年の記念事業の実施に関する方針等は、別紙1の通りです。別紙1の「2」に記載しておりますように、貴館において記念事業等を実施いただける場合には、別紙2にその概要をご記入の上、3月27日（月）までに日本博物館協会事務局までお送りくださるようお願いいたします。

本年も皆様のご理解とご協力を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

敬具